

鳩山政権スタート。



衆院本会議が9月16日開かれ、鳩山由紀夫代表を第93代内閣総理大臣に指名しました。首相指名選挙で鳩山代表は、民主党・無所属クラブの312人に、社会民主党・市民連合の7人と国民新党の3人、他を加え327票を獲得しました。

首相指名を受けた鳩山代表は、総理としての重責をかみしめるよう各方面に何度も丁寧にお辞儀をしました。

とことん国民の皆さんのための政治を

鳩山由紀夫新総理大臣は16日夕、首相官邸で初の記者会見を行い、「国民の皆さんの期待に応えるために連立政権をスタートさせた」と述べ、社民党、国民新党との連立政権を正式に発足させたことを報告しました。

鳩山総理は、「日本の歴史が変わると思うと身震いがする。本当の意味での国民主権に変える、その強い責任を感じたところ」と首相指名を受けた感想を述べました。

また、目指す政治について、脱官僚依存であることを強調したうえで、国民の皆さんに対して、「ただ1票を投じればいいのではなく、政権にモノを言い、政権に参画してもらいたい。私たちは、試行錯誤で失敗することもあるかもしれない。国民の皆さんに寛容を求めたい。国民の皆さんに育てていただければ幸せ」と国民の参画を促しました。

小沢幹事長 国会法、公職選挙法改正に意欲

小沢幹事長は「国民の代表である政治家同士の議論ができる国会を目指すためにも、脱官僚支配をまず国会から始めなければならない」との見解を示し、国会の委員会審議で大臣に代わって官僚が「政府参考人」として答弁することを改める考えに意欲を見せました。

さらに「国民の主権の行使は選挙しかない。選挙は民主主義の原点であり、主権者の判断を第一に考え、できる限り自由に選挙ができる仕組みにしたい」と、公職選挙法の改正にも意欲を示しました。

参院神奈川・静岡補選で民主党公認候補擁立

民主党は、参院神奈川補欠選挙に金子洋一氏(新・47歳・エコノミスト)を、参院静岡選挙区補欠選挙に土田ひろかず氏(御殿場市の医療法人理事長)を公認候補とすることを決め、勝利に向けて全力を挙げる考えを示しました。

また、同日行われる宮城県知事選に遠藤保雄氏(新・62歳・前国連食糧農業機関戦略企画部長)を推薦することを決定しました。

大島 九州男 国政報告ミニ集会



ご承知のとおり、国会議員の仕事は、法律を作ることです。そのために、皆さまお一人お一人の生の声を政策に反映させなければなりません。大島九州男は、国政の現状をお伝えするため、全国各所でミニ集会を行っています。

皆さまと語り合う中で、いつも感じることは、マスコミを通じた情報が実態よりも優先されてしまっているということです。

だからこそ、直接、国民の皆さまに会い、真実をお伝えする事の大切さを痛感しています。これからも、全国各地を自らの足で歩き回り、地道に国政報告会を続けていきます。

近くに立ち寄った折には、ぜひ集会にご参加いただければ幸いです。皆さまのお声を励みにさせていただきます。



東京消防庁 消防学校 - 視察



東京都渋谷にある、東京消防庁消防学校へ視察に行ってきました。都民・国民の命を守る大変な仕事に就こうと、厳しい訓練・授業を受けている若者です。

この日は、入校して間もない新入生とレスキュー隊希望者生が、先輩のレスキュー隊員から指導を受けていました。

生徒の皆さんは、真剣な表情で先生方や先輩たちの指導に、大きな声で返事をし、1つ1つの行動を確認しながら実技指導を受けていました。

大島九州男は、「命の大切さを一番よく知っている皆さんですが、まず自分の命を大切にして、都民・国民の皆さまの命を守り救うため、しっかりと学んでください。」と激励の言葉をかけました。

